

## 資料配布の場所

1. 国土交通記者会
  2. 国土交通省建設専門紙記者会
  3. 国土交通省交通運輸記者会
  4. 筑波研究学園都市記者会
- 平成 29 年 8 月 8 日同時配布



平成 29 年 8 月 8 日  
国土技術政策総合研究所

## 木造住宅の劣化のしやすさと対策を解説したガイドライン公表 ～雨水浸入や結露から我が家を守るための技術情報を住まい手などへ提供～

国総研は、5 年間にわたる産学官による共同研究により、外装材および柱や梁などの躯体の劣化を防止するため、雨水浸入、結露に伴う劣化リスク要因と、外皮の仕様の選択方法や施工方法について示したガイドライン（住まい手向け、造り手向け）を策定し公表しました。これらの情報を住まい手や造り手が積極的に活用することにより、木造住宅の耐久性を大幅に向上させることが可能となります。

1. 資料名：共同研究成果報告書「木造住宅の耐久性向上に関わる建物外皮の構造・仕様とその評価に関する研究」（国総研資料 No.975）
2. 経緯：瑕疵保険の事故の中で防水事故の割合は 9 割を超えております。雨水浸入および結露対策は、木造住宅の耐久性を確保する上で極めて重要な課題です。  
そこで、国総研では、2011 年度から 2015 年度にかけて、大学、設計・施工・検査などの実務を担う検査機関、住宅供給団体、工事団体、材料生産団体（合計 24 機関）による共同研究を実施しました。
3. 概要：本資料は、雨水浸入や結露に伴う劣化実態調査や撒水検証試験等の各種試験に基づき、学識経験者や産学官の実務者が横断的に協議し、住まい手向けの【長持ち住宅ガイドライン】と、造り手向けの【リスク分析・評価ガイドライン】、【設計・施工ガイドライン】を取りまとめたものです。
4. 効果：本資料により、木造住宅の設計・施工をする際、外皮からの雨水浸入の種類とリスク、木部の腐朽の危険性などを事前に把握し、提案された推奨仕様により対応策を講じることが可能となります。住まい手は、我が家を建設する前にこれらの対応策を検討し、住宅の耐久性の向上や LCC（ライフサイクルコスト）の低減が可能となります。  
既存住宅の維持保全や改修時の参考資料としても役立たせることができます。
5. 資料の公開先：国土技術政策総合研究所ホームページ

[http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tn\\_nilim.htm](http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tn_nilim.htm)

住まい手向けの第 2 編は、一部のツールを利用しやすいファイル形式にして、国土技術政策総合研究所 建築研究部のサイトにも掲載しています。（参考）

<http://www.nilim.go.jp/japanese/organization/kenchiku/jkenchiku.htm>

## (問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 建築研究部 構造基準研究室  
主任研究官 宮村雅史 (内線 4316)

Tel : 029-864-4339 Fax : 029-864-6774 E-mail : miyamura-m92ta@mlit.go.jp

## 【住まい手向け】長持ち住宅ガイドライン

### 耐久性を向上させる家造りガイドライン

#### 【長持ち住宅の選び方】

【長持ち我が家を築く！  
造り手との情報交換ツール】

【住まい手のための  
材料・部材選択シート】

#### 【住宅外皮重要ポイントチェックリスト】

4種類のツールにより長  
寿命の家造りに役立つ  
情報を提供

### 我が家を長持ちさせるための メンテナンスガイドライン

長寿命化させるための外皮の  
メンテナンスガイドライン

各種屋根の経年劣化事例調査

点検の重要性、経年劣化傾向、  
メンテナンススケジュール、LCC、モニタリ  
ング、住まい方などの情報を提供

木造住宅の劣化リスクを把握し、具体的な対  
応策を施すことが可能となるようガイドライン  
を用いて長寿命化方法を判りやすく提案

## 【造り手向け】リスク分析・評価ガイドライン

1. 水分による各種の劣化リスク要因と問題点を明確化
2. 外装の隙間からの雨水浸入リスクの評価方法を提案
3. 木部の含水状態による腐朽危険度の予測手法を提案
4. 異業種による外皮の施工取り合い部のリスクを明確化
5. モルタル外壁の接合部の耐久性評価方法を提案
6. 木造住宅外皮の設計施工に起因する不具合事例を明示

各種の仕様を対象にして、水分による劣化リスクを把握する  
とともに、設計・施工に伴う不具合の要因と劣化事例を紹介



撒水検証試験など



住まい手と造り手が技術情報を  
共有し、相互理解することにより  
木造住宅の耐久性が向上する。

## 【造り手向け】設計・施工ガイドライン

1. 各種の屋根の耐久性を向上させるための「**通気下地屋根  
構法**」の設計施工要領を提案（屋根に通気層を設置）
2. 雨水浸入しやすい部位を対象とした**推奨仕様**を提案
3. **真壁木造**外壁の**防水**設計施工基準を提案

雨水浸入事例の多い外壁、窓まわり、バルコニー、屋根、およびこ  
れらの取り合い部を対象として、各々の不適切な納まりに対する雨  
水浸入要因を解説するとともに、検証試験により確認された推奨納  
まりを提案。

4. 木造住宅外皮の**換気・通気**計画ガイドラインを提案

雨水浸入を防ぎきれない場合の構成部材の乾燥を促すため、屋根  
や外壁の換気・通気方法を示すガイドラインを作成。

劣化実態  
調査結果

